

施策カールテ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱		市民の豊かな暮らしを支える活気と活力 のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	魅力ある観光と交流を創出する	取組の 基本方向	「魅力ある観光と交流を創出する」ため、市民におもてなしの心を定着させていくための「おもてなしの向上」や、特色ある地域資源を観光に生かすための「観光資源の活用促進」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民自らも誇りを持つことで、多くの人に宇都宮に訪れてもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。
--------------	--	-----------------------------------	----------------	----------------	-------------	---	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	観光資源の活用促進						達成率 (%)
	施策指標(単位)						
施策目標	人・自然・文化など、本市の持つさまざまな観光資源が生かされ、多くの人が宇都宮に訪れています。						92.0%
施策を取巻く環境	観光スタイルの変化に伴い、新たな観光資源の開発や、体験型観光、イベント等の充実による既存資源の活用が求められている。						
市民の 施策満足度	32.7%	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	現状課題の抽出 目標は達成しているが、より魅力的な観光都市を形成するため、新たな観光資源の開発やイベントのリニューアルを図るとともに、近隣市町や民間企業との連携(広域連携、官民協働)体制を強化する必要がある。大谷地域の活性化を図るため、安全対策のいっそうの充実に努めるとともに、地域住民の機運醸成及び観光地にふさわしい環境整備が必要である。
市民の 施策重要度	52.4%	必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している	説明	
		効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	
		有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	

3 今後の取組方針

取組の 考え方	より魅力的な観光都市を形成するため、各種観光事業においては、近隣市町との連携体制や市民団体等への支援体制を充実させていく必要がある。併せて、本市知名度向上のために、首都圏イベント等への参画体制を構築することにより、積極的な観光宣伝事業を展開する必要がある。また、安全対策における栃木県等の関係機関との連携強化を通じて、大谷地域の活性化に取り組んでいく。	政策評価 会議意見	特色ある地域資源を観光に生かし、その価値を高めていくために、事業実施に当たっては、今後さらに、近隣市町との連携体制や市民団体等への支援体制を充実させていくこと。併せて、本市の知名度向上のために、各種広報媒体の活用や首都圏イベント等への参画体制を構築し、積極的な観光宣伝事業を展開していくこと。また、大谷石産業の振興及び観光拠点である大谷地域の活性化、さらには安全対策等の地域振興を進めていくためには、地域と一体となった環境づくりが重要であり、栃木県等の関係機関との連携強化を図りつつ、取組みを進めること。
------------	--	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	観光宣伝事業 担当課 観光交流課	来訪者, 市民, 市民以外	S59	観光パンフレット等作成部数	112,000	105,000	13,173	9,811	A	継続	観光情報媒体が多様化する中、効果的に来訪者を確保するため、ニーズに応じた媒体の見直し等が必要である。
					90,300	58,200					
2	(財)大谷地域整備公社運営費補助金 担当課 産業政策課	(財)大谷地域整備公社	H2	巡回日数	52	52	34,184	32,681	A	継続	観測システムの運用のほか、異変にいち早く対応するための巡回や補充調査など大谷地区の安全対策を総合的に行っており、大谷地域の安全の確保に貢献しているところであるが、今後とも、効率的・効果的な運営を図りつつ、安全対策のより一層の充実に努めていくことで、大谷地域の民生の安定化を図る必要がある。
					53	58					
3	広域観光宣伝事業 担当課 観光交流課	各種協議会	H3	加盟団体数	5	5	708	790	B	継続	観光情報媒体が多様化する中、効果的に来訪者を確保するため、各種団体と連携し、観光宣伝ツールや催し開催方法の見直し等が必要である。
					5	5					
4	大谷観光景観形成事業補助金 担当課 観光交流課	地元住民団体	H20	会員数		100	1,400	2,000	B	継続	大谷観光推進基本計画区域内の景観を、地域住民自らが誇りと愛着を持って、観光資源として良好に保全・形成していけるよう、機運醸成のための支援体制を充実していく必要がある。
						86					
5	ふるさと宮まつり開催委員会事業補助金 担当課 観光交流課	ふるさと宮まつり開催委員会	S50	来場者数	500,000	500,000	12,000	12,000	B	継続	本市最大規模のイベントであり、集客効果も高いことから、更に多くの市民の参加を促し、継続させていく必要がある。
					450,000	550,000					
6	まちかど観光体験館整備事業 担当課 観光交流課	まちかど観光体験館設置者(事業主)	H18	まちかど観光体験館設置件数	1	1	2,000	2,125	B	見直し	体験型観光を促進する上で、まちかど観光体験館の増加は効果的であり、引き続き増加していくためには、補助対象エリアの拡大等制度見直しを図る必要がある。
					1	1					
7	うつのみや花火大会実行委員会補助金 担当課 観光交流課	うつのみや花火大会実行委員会	S59	来場者数	500,000	300,000	-	2,000	B	継続	花火大会の集客効果は高いことから、引き続き大会が継続されるよう、実施団体を側面支援していく必要がある。
					330,000	250,000					
8	フェスティン大谷交付金 担当課 観光交流課	フェスティン大谷実行委員会	H13	来場者数	30,000	30,000	4,771	4,771	B	継続	イベント開催は、大谷観光の推進に寄与するものであるが、一過性の取組みに過ぎないことから、通年で集客効果を図れる体制を構築する必要がある。
					25,000	25,000					
9	インディ活用事業 担当課 観光交流課	インディ・ジャパン300プレイベント実行委員会	H17	プレイベント企画及び実施件数	4	8	500	500	C	継続	インディジャパンの開催に合わせ、茂木町に集結するインディカーレースファンや関係者をターゲットに実施する観光宣伝事業は、誘客効果も期待できることから、近隣自治体やホテル業界等と官民協働で連携を図りながら、継続的に取り組んでいく必要がある。
					6	9					
10	宇都宮バルーンフェスティバル活用事業 担当課 観光交流課	とちぎ熱気球選手権実行委員会	H18	宇都宮会場来場者数	100,000	100,000	500	500	C	継続	バルーン大会は、根強いファンや関係者等の県内誘客効果が期待できることから、県内観光振興に寄与するイベントとして定着化しよう、関係自治体と連携しながら実施団体を継続的に支援していくとともに、会場選定や付帯イベントのあり方について見直しを図るなど、より集客効果の高いイベントとなるよう誘導していく必要がある。
					61,000	70,000					
施策事業費合計							69,236	67,178			